

# オーバーヘッドカメラ

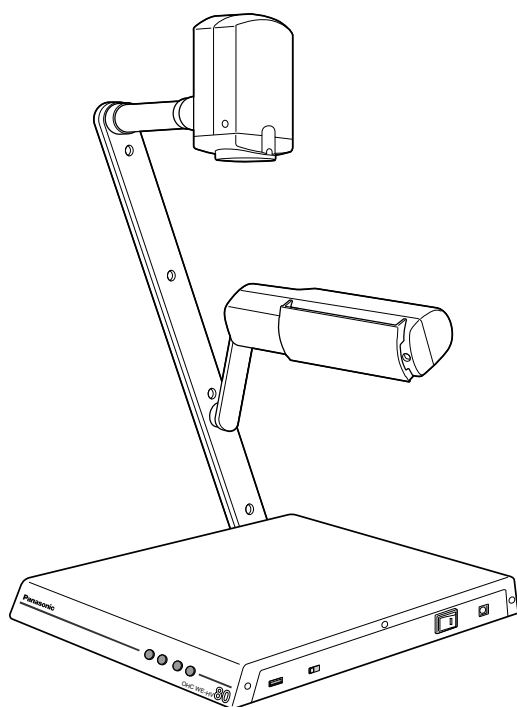
## 取扱説明書

品番 WE-HV80

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

## もくじ

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 商品概要               | 2   |
| 付属品をご確認ください        | 2   |
| 安全上のご注意            | 2   |
| 使用上のお願い            | 4   |
| 撮影上のお願い            | 5   |
| ブルーミングやスミアの防止      | 5   |
| 撮影時の光について          | 5   |
| ホワイトバランスについて       | 5   |
| レンズのお手入れについて       | 5   |
| 各部の名前と働き           | 6   |
| 前面                 | 6   |
| 右側面                | 6   |
| 後面                 | 6   |
| 使いかた               | 7~8 |
| ステージ面上の資料や物を撮影する場合 | 7   |
| 壁面や口元などを撮影する場合     | 8   |
| 収納のしかた・持ち運びかた      | 9   |
| 収納のしかた             | 9   |
| 持ち運びかた             | 9   |
| 接続のしかた             | 10  |
| 蛍光灯の交換のしかた         | 10  |
| 故障と恐れられましたら        | 11  |
| 仕様                 | 11  |
| 保証とアフターサービス        | 裏表紙 |

このたびは、オーバーヘッドカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は、ステージ面に置いた被写体を撮影し、接続した液晶プロジェクターなどに映し出すオーバーヘッドカメラです。

- デジタル信号処理で、高画質で鮮明な画像が得られます。
- 書籍、文献、立体物などの撮影が可能です。
- アイリス（絞り）の調節ボリュームを装備しています。
- ガンマ切換により、出力機器に適した映像を選択できます。
- アナログRGB端子を備えている液晶プロジェクターなどに接続して、プレゼンテーションを行うことができます。

## 付属品をご確認ください

|               |   |                |   |
|---------------|---|----------------|---|
| ACアダプター ..... | 1 | 取扱説明書（本書）..... | 1 |
| 電源コード .....   | 1 | 保証書 .....      | 1 |

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする  
など、そのまま使用すると火災の原因  
となります。

ただちに電源プラグを抜いて、  
販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

内部に高電圧があり、  
感電の原因となります。

修理や点検は、販売店にご依  
頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入  
ると、火災や感電の  
原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、  
販売店にご連絡ください。

### 工事や蛍光灯を交換する ときは電源プラグを抜く



感電の原因となりま  
す。

電源プラグ  
を抜く

### 専用の電源以外は 使用しない



禁止

火災の原因となりま  
す。

付属のACアダプター、電源コ  
ードを使用してください。

### ぬれた手で電源プラグ の抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となりま  
す。

### 電源コードは、必ず プラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火  
災や感電の原因とな  
ります。

### 電源プラグのほこり などは定期的にとる



プラグにほこり等が  
たまると、湿気等で  
絶縁不良となり、火  
災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布  
でふいてください。

### 電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全で  
すと、感電や発熱に  
よる火災の原因とな  
ります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセ  
ントは使用しないでください。

### コンセントや配線器具の定 格を超える使いかたや、交流 100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、  
定格を超えると発熱  
による火災の原因と  
なります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、  
ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因とな  
ります。

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠ 注意

### 指はさみ注意



指に注意

アームライトやカメラアームをたたむときに手や指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。

### 点灯中や消灯直後の 蛍光灯に手を触れない



禁止

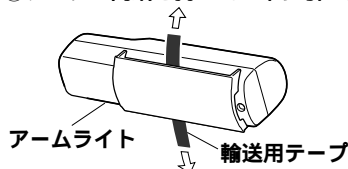
あついうちにさわると、やけどなどの原因となります。

## 使用上のお願い

### ご使用前に必ず行ってください

工場出荷時には、アームライトに輸送用テープが貼り付けてあります。必ずはがしてからご使用ください。

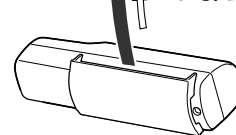
①テープの両端を持って上下に引っばる



アームライト

輸送用テープ

②テープがはがれたら、上に引き抜く



### カメラ部を太陽に向けない

カメラ部を直射日光に向けると、カメラ部を破損し、撮影できなくなります。

### 暗い画面の中に明るいスポット光線のある被写体は映さない

テレビモニターなどのブラウン管をいためる場合があります。

### 使用周囲温度を守る

+35 以上の暑い所や+5 以下の寒い所では、画質の低下や内部の部品に悪い影響を与えるので、ご使用を避けてください。

### 電源について

電源コードは、必ず次の方法で接続してください。

- 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くこと。

ご使用にならないときは、

- ACアダプターの電源コードをACコンセントから抜いてください。電源スイッチが「切」でも、約2.2 Wの電力を消費しています。

### 湿気、ほこりの少ない所で使う

湿気、ほこりの多い所で使用すると、内部の部品が、いたみやすくなりますので避けてください。

### 消耗品について

蛍光灯(アームライト)は消耗品です。約6000時間を目安に交換(10ページ参照)してください。

(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません。)

### お手入れについて

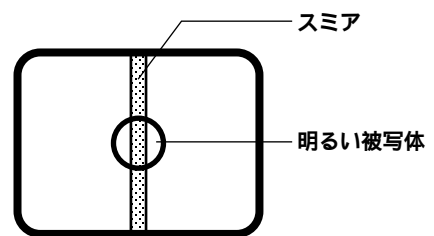
電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布にしみ込ませ、固く絞り軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対に使用しないでください。ケースが変形したり、変色することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 可動部分に洗剤液や油を注さないでください。

# 撮影上のお願い

## ブルーミングやスミアの防止

照度が非常に高い被写体の近くでカメラを操作すると、スミア（映像が尾を引いて見える現象）やブルーミングが発生することがあります。カメラを太陽やレーザー光線のような、非常に強い光に向けないでください。CCD固体撮像素子が焼けて、画面に黒い点や白い点が現れることがあります。



## 撮影時の光について

### 光源の色温度について

本機には専用の照明がついていますが、明るさが変わると、光源の色温度が変わります。光源の色温度が変わると、被写体の色が目で見たときと違う色で画像表示されることがあります。

### 屋外撮影について

本機は室内やステージ面上の被写体の撮影を主に行うものです。晴天時の屋外の撮影を行う場合は、被写体の照度が高いため、本体右側面のアイリス調節ボリュームを「閉」の方向に回して調節してください。

## ホワイトバランスについて

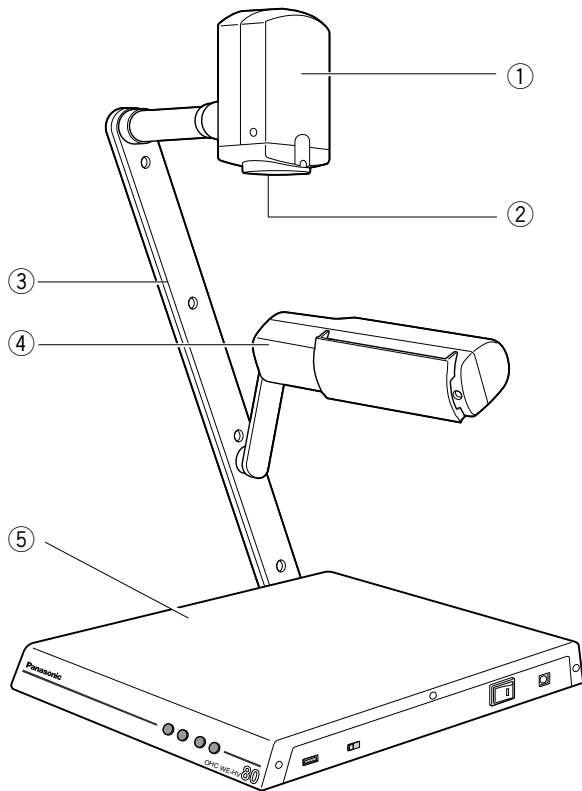
本機は、電源投入時にホワイトバランスを自動で調整します。被写体をステージに置いたまま電源スイッチを入れると、被写体の色が目で見たときと違う色で画像表示されることがあります。電源投入時は、ステージ上に何も置かないでください。

## レンズのお手入れについて

レンズ表面に汚れが付着すると画面がぼやけたり、ごみが映ったりします。このようなときは、次の手順でレンズを清掃してください。特にたばこの煙が多い所で使用する場合は、こまめに清掃してください。

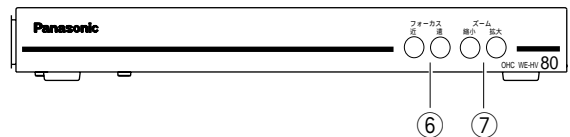
1. レンズ表面のごみやほこりをエアスプレーでふき飛ばします。
2. レンズクリーナー液をレンズクリーニングペーパーにしみ込ませて軽くふいてください。  
レンズクリーナー液やレンズクリーニングペーパーは、メガネやカメラ用のものをご使用ください。

# 各部の名前と働き

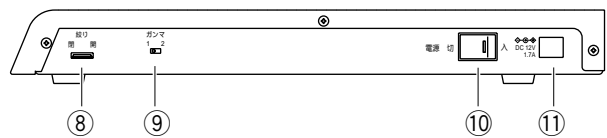


- ① **カメラヘッド**  
奥側に90°回転できます。
- ② **レンズ(クローズアップレンズ付き)**  
クローズアップレンズが取り付けられています。壁面を撮影する場合など、レンズから被写体までの距離が離れているときは、クローズアップレンズを開けてください(8ページ参照)。
- ③ **カメラアーム**
- ④ **アームライト**  
被写体照明用ライト(蛍光灯)です。交換のしかたは、10ページをご参照ください。
- ⑤ **ステージ**  
被写体を置きます。前面から見て上下左右がプロジェクターの画面と同じ位置になります。
- ⑥ **フォーカスポタン [近 / 遠]**  
ピントを合わせます。
- ⑦ **ズームボタン [縮小 / 拡大]**  
映像の拡大 / 縮小を行います。
- ⑧ **アイリス調節ボリューム [絞り 閉 / 開]**  
絞りを調節します。

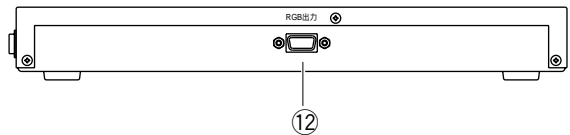
## 前面



## 右側面



## 後面



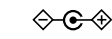
### 表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

- ⑨ **ガンマ切換スイッチ [ガンマ 1 / 2]**  
接続する機器および被写体によってガンマの切り換えをします。使用する環境に応じて、1または2のどちらかに設定してください。
- ⑩ **電源スイッチ / 電源表示LED [電源 切 / 入]**  
電源スイッチを「入」にすると、LEDが点灯し、接続した機器に映像が表示されます。電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

### メモ

本機の電源を入れてから、映像が液晶プロジェクターなどに表示されるまで、約7秒かかる場合があります。

- ⑪ **電源コンセント [DC 12V 1.7 A]**   
付属のACアダプター、電源コードを使用し、電源コンセントに接続します。必ずAC100 V 50 Hz / 60 Hzに接続してください。
- ⑫ **アナログRGB出力端子 [RGB出力]**  
液晶プロジェクターなどに接続して使用します。

# 使いかた

## ⚠ 注意

アーム部で指などははさまないように注意してください。けがの原因になります。

## ステージ面上の資料や物を撮影する場合

書籍・文献・立体物などの被写体をステージ面に置いて撮影し、液晶プロジェクターなどに映し出します。接続のしかたは、10ページをご参照ください。

### 1. カメラアームを上引き起こす。

止まるまで完全に引き起こしてください。

### 2. カメラヘッドをステージ面に向ける。

お願い

カメラヘッドを必要以上の力で回したり、スイングしたりしないでください。カメラヘッドとアームとのジョイント部を破損する恐れがあります。

### 3. アームライトをステージ面に向ける。

蛍光管に直接触れないように注意してください。

### 4. 電源スイッチを押して「入」にする。

電源表示LED、アームライトが点灯します。

お願い

ステージ上には何も置かないでください。ホワイトバランスが正しく調整されないことがあります。

### 5. ステージ面に被写体を置く。

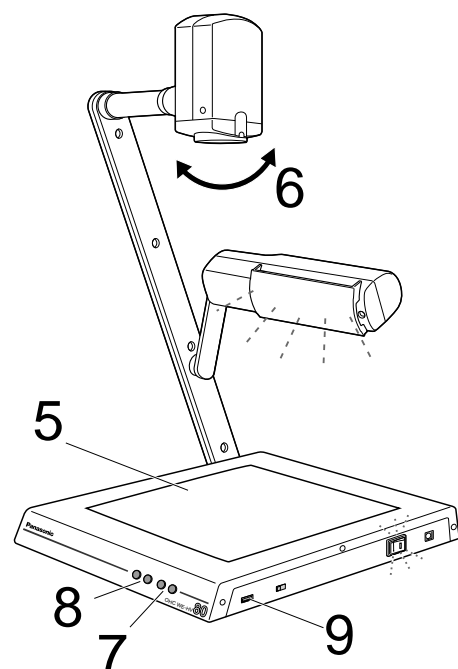
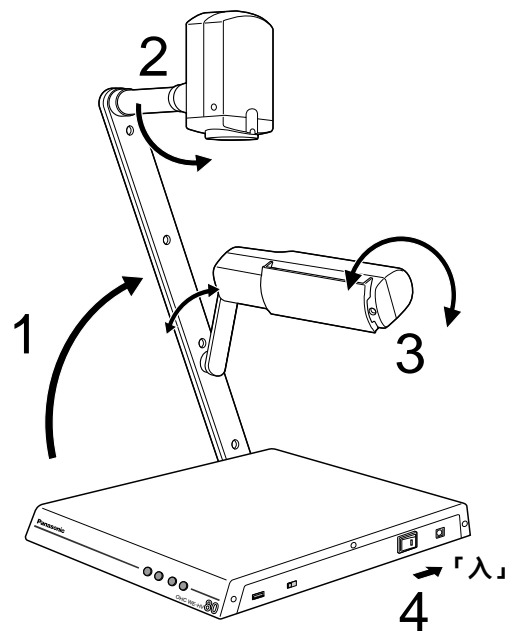
### 6. 被写体の位置を調節する。

映し出された映像を見ながら、被写体が中心に映るように、カメラの向きや被写体の位置を調節します。

### 7. ズームボタンを押し、被写体の映像をお好みの大きさにする。

### 8. フォーカスボタンを押し、フォーカスを合わせる。

### 9. アイリス（絞り）を調節する。



# 使いかた

## 壁面や口元などを撮影する場合

被写体が暗いときは、室内の照明を点灯するなどして十分な明るさを確保してください。  
被写体の明るさによっては、プロジェクターなどに映し出される画面が暗くなる場合があります。

### 1. カメラアームを上引き起こす。

止まるまで完全に引き起こしてください。

### 2. 電源スイッチを押して「入」にする。

電源表示LED、アームライトが点灯します。

お願い

ステージ上には何も置かないでください。ホワイトバランスが正しく調整されないことがあります。

### 3. カメラ部を回して、レンズを被写体に向ける。

お願い

カメラヘッドを必要以上の力で回したり、スイングしたりしないでください。  
カメラヘッドとアームとのジョイント部を破損する恐れがあります。

### 4. 被写体の位置を調節する。

映し出された映像を見ながら、被写体が中心に映るように、カメラの向きや被写体の位置を調節します。

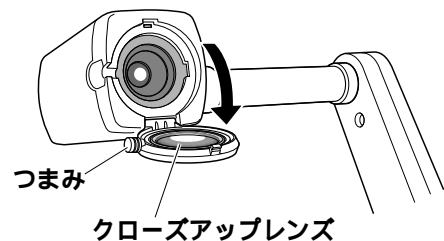
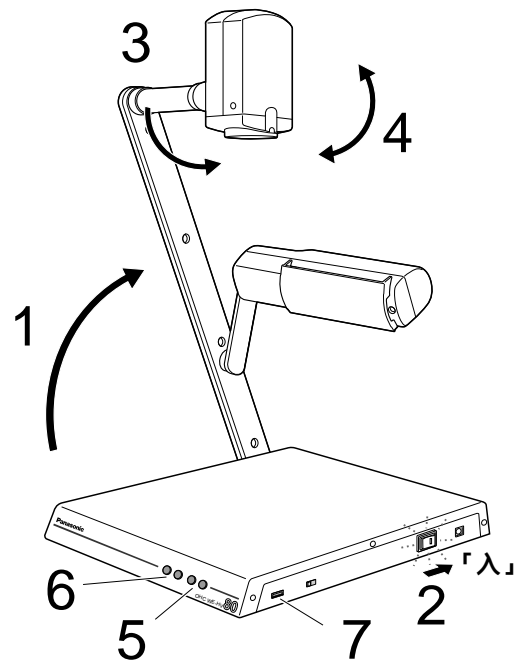
お願い

レンズから被写体までの距離が離れている場合は、クローズアップレンズを開けてください。

### 5. ズームボタンを押し、被写体の映像をお好みの大きさにする。

### 6. フォーカスボタンを押し、フォーカスを合わせる。

### 7. アイリス（絞り）を調節する。





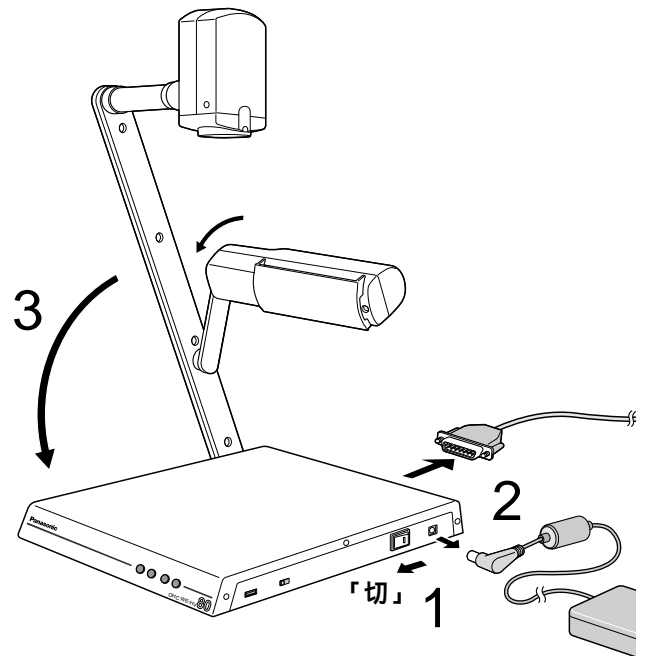
# 収納のしかた・持ち運びかた

## 収納のしかた

### ⚠ 注意

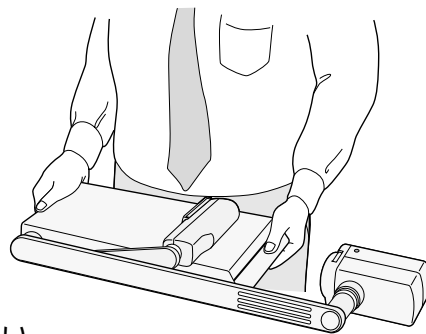
アーム部で指などはさまないように注意してください。けがの原因になります。

1. 電源スイッチを押して「切」にする。
2. ケーブルをはずす。  
電源コードと、後面の接続ケーブルをはずします。
3. カメラアームを倒す。  
カメラ部とアームライトをステージ面と平行にします。

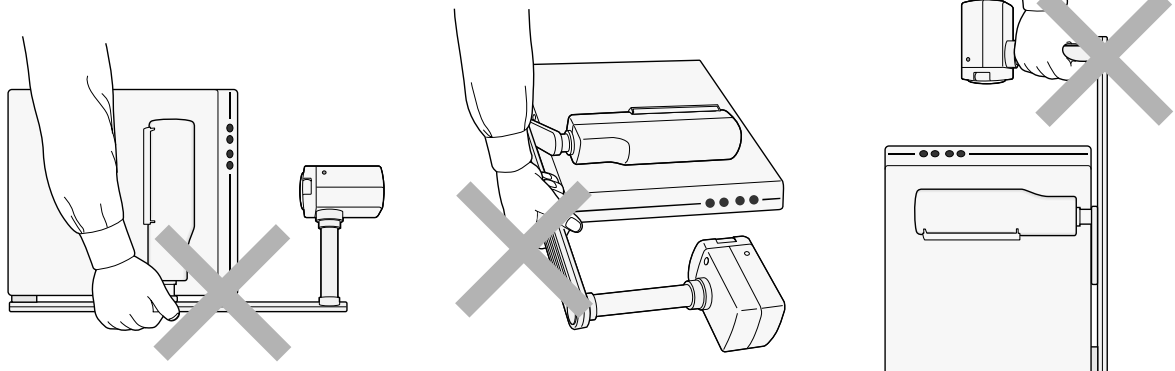


## 持ち運びかた

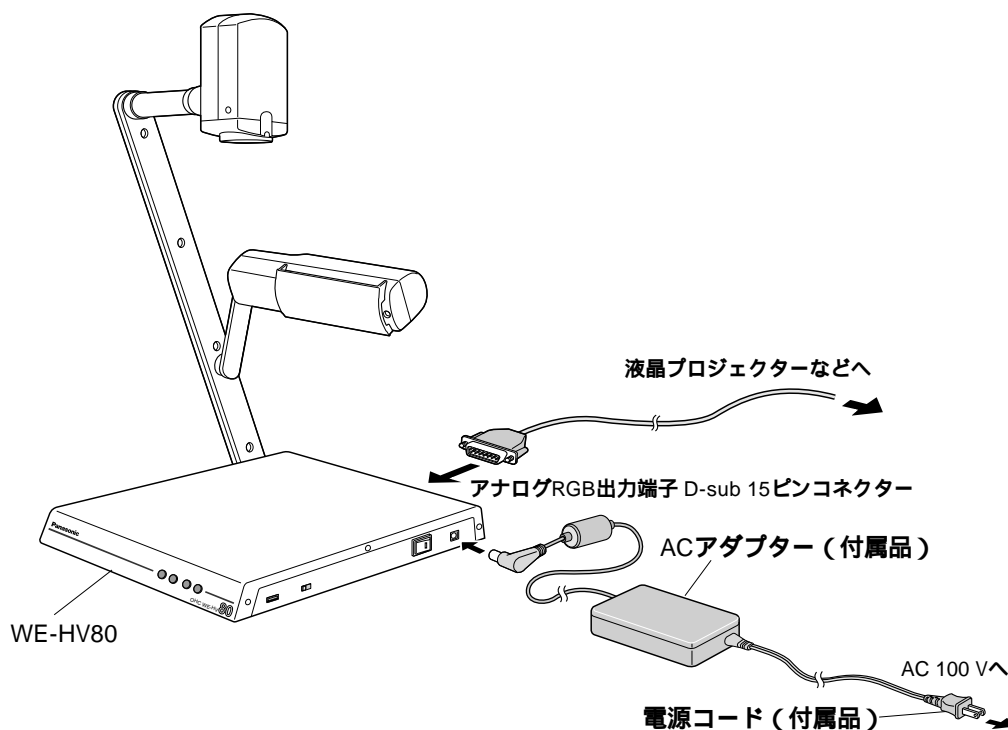
収納してから、ステージ面の両側を持って運んでください。



下図のような持ちかたは、避けてください。



# 接続のしかた

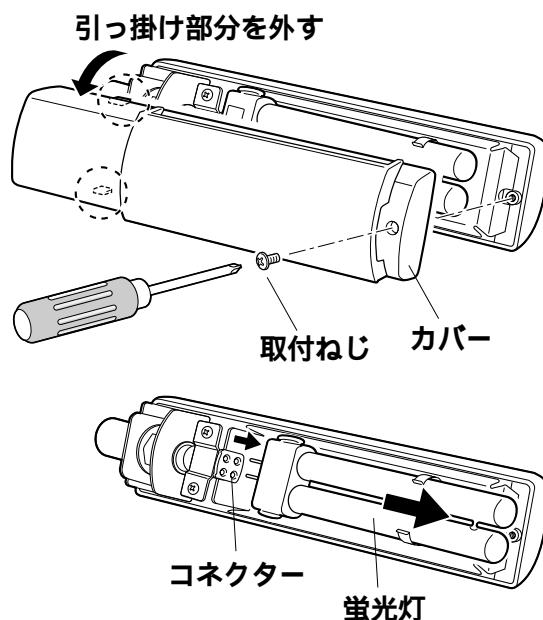


# 蛍光灯の交換のしかた

## ⚠ 警告

必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
感電の原因になります。  
また、消灯直後の蛍光灯はあつくなっています。蛍光灯の熱が冷めてから行ってください。  
熱をもっているうちに触ると、やけどなどの原因となることがあります。

1. 取付ねじをはずし、カバーをはずす。
2. 蛍光灯をコネクターから引き抜き、新しい蛍光灯と交換する。
  - 交換する蛍光灯は以下のものと同等のものをお使いください。  
9 W 直管蛍光灯 (昼白色)  
推奨品番：ツイン1 FPL9EX-N 3波長形  
[松下電器産業 (株) 照明社扱い]
3. 元通りにカバーを取り付け、取付ねじをしめる。



# 故障と思われましたら

故障と思われる前に以下の内容をご確認ください。

確認してもなお異常があるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

|            |  |
|------------|--|
| 映像が出ない     | <ul style="list-style-type: none"><li>●電源スイッチは「入」になっていますか。</li><li>●プロジェクター側の電源は入っていますか。</li><li>●接続ケーブルは正しく接続されていますか。</li></ul>                                   |
| フォーカスが合わない | <ul style="list-style-type: none"><li>●被写体の高さが5 cm以上ありませんか。<br/>ズームを最大にすると、フォーカスが合わないことがあります。</li><li>●アームが正常の位置に起きていますか。</li><li>●レンズが汚れたり、ゴミが付いていませんか。</li></ul> |

## 仕様

|               |   |
|---------------|---|
| 電源            | DC 12 V (付属の専用ACアダプターより供給) 1.7 A                                      |
| 消費電力          | 約 27 W (本体電源スイッチ「切」時約2.2 W)   |
| 撮像素子          | 1/3型CCD 総画素 85万 (正方画素)  |
| 有効画素数         | 1 034 (H) × 779 (V)   |
| レンズ           | f = 5.8 mm ~ 58 mm  |
| ズーム           | 10倍ズーム F = 1.8 ~ 2.7 可変   |
| フォーカス         | 電動  |
| アイリス          | 手動 (ボリュウム調節)  |
| レンズマウント       | 専用マウント  |
| フレーム数         | 15フレーム / s  |
| 解像度           | 水平、垂直 550 TV本以上 (中心)  |
| ホワイトバランス      | 自動  |
| ゲイン           | 0 dB固定  |
| ガンマ特性         | スイッチ切換  |
| 同期方式          | 内部同期  |
| 出力信号          | アナログRGB 75 0.7 V[p-p] 正極性、ミニD-sub 15ピンコネクター、XGA 1 024 × 768ドット、VESA準拠 |
| 同期信号出力        | CMOSレベル負極性  |
| アームライト        | 9 W ツイン蛍光灯  |
| カメラヘッド回転      | 奥側へ90 ° フリップUP  |
| 撮影サイズ         | 285 mm × 213 mm   |
| 操作            | 電源スイッチ、カメラヘッド回転、電動フォーカス操作、電動ズーム操作、アイリスコントロール                          |
| 使用温度範囲        | +5 ~ +35 (結露なきこと)   |
| 寸法            | 幅 333 mm 高さ 520 mm 奥行き 378 mm (使用時)                                   |
| 質量            | 約 4.3 kg  |
| 仕上げ           | OAアイボリー (マンセル8.0Y7.8/0.8近似色) グレー (マンセル10PB 6.5/1近似色)                  |
| ACアダプター (付属品) |   |
| 電源            | AC 100 V 50 Hz / 60 Hz  |
| 入力容量          | 100 VA  |
| 出力            | DC12 V 4.0 A  |
| 使用温度範囲        | 0 ~ +40   |
| 寸法            | 幅 72 mm 高さ 28 mm 奥行き 120 mm   |
| 質量            | 約 400 g   |
| 仕上げ           | 黒色 (マンセルN2近似色)  |

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間  
ただし、蛍光灯は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

## 修理を依頼される時

「故障と思われましたら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

## 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、オーバーヘッドカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

|                                  |        |         |   |   |    |         |
|----------------------------------|--------|---------|---|---|----|---------|
| 便利メモ<br>おぼえのため<br>記入されると<br>便利です | お買い上げ日 | 年       | 月 | 日 | 品番 | WE-HV80 |
|                                  | 販売店名   | ☎ ( ) - |   |   |    |         |

## 松下電器産業株式会社

### AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410